

<その他、取組に特徴のある事例>

○ゴミ拾いによる農村道の清掃

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	北海道 <small>しべつぐんしべつちょう</small> 標津郡 <small>しべつ</small> 標津町				
協定面積 11,430.8ha	田	畑	草地（100%）	採草放牧地	
			牧草		
交付金額 21,434万円	個人配分			30%	
	共同取組活動 （70%）	集落の管理体制に係る経費			2%
		農業生産活動等			52%
		生産性・収益の向上に関する活動			6%
		生活環境の整備等に関する事項			1%
	農用地等保全体制整備			1%	
	その他			8%	
協定参加者	農業者 153人 農業生産法人 8 農業協同組合 1			開始：平成12年度	

2. 取組に至る経緯

農業を取り巻く環境は大きな転換期を迎えている一方で、規模拡大による過重労働や河川環境への負荷の増大、さらには後継者不在や不慮の事故等による農家戸数の減少とこれに伴う農村地域の活力低下への懸念など多くの課題を抱えている。

こうした中で、本町の農業を衰退させることなく、さらに発展させていくためには、「資源循環酪農」を基本に「安全・安心」な食料生産体制の構築と「環境との調和」を重視した持続可能な農業・農村づくりなど、時代の要請に着実に対応しながら農家経済の安定と農村社会の健全な維持を図ることが必要である。

このことから、集落が一体となって取組を実施することとし、経営の体質強化と地区全体の生産条件の底上げや農村地域活力の向上を図っていく。

3. 取組の内容

環境との調和を重視した持続可能な農業・農村づくりのため、農村道等の管理としてゴミ拾いによる清掃を行っている。



【ゴミ拾いの風景】



【回収されたゴミ】

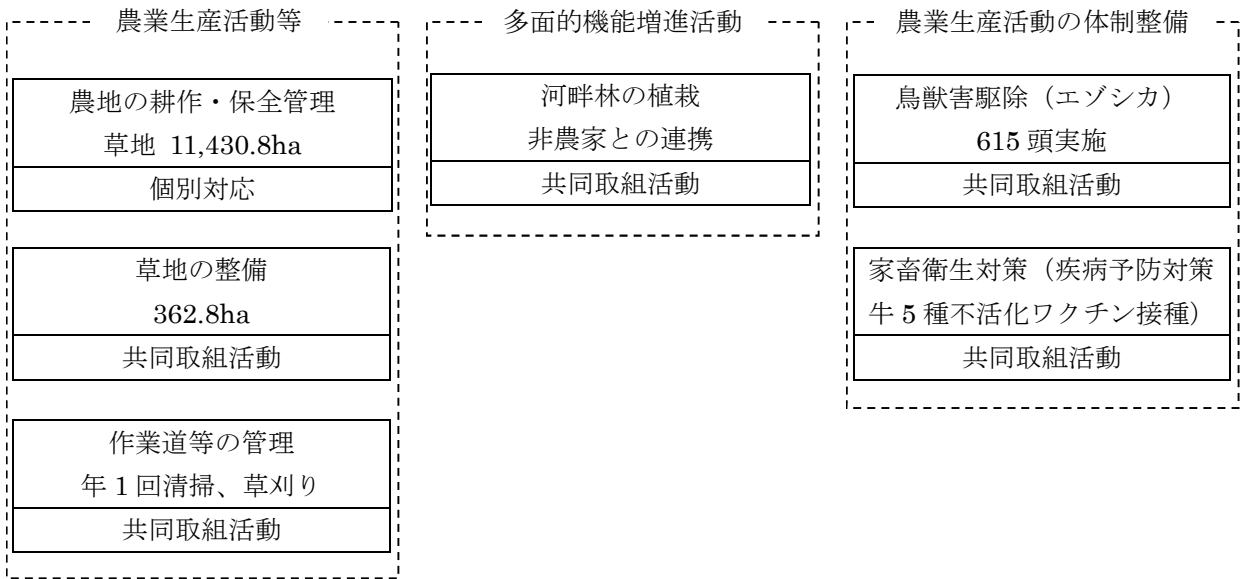
[集落の将来像]

豊かな自然と土地基盤に支えられた持続的な資源循環型酪農の確立を基本理念として、限られた農地において耕作放棄地を発生させることなく、家畜排泄物を最大限に利用するとともに、草生環境を推進しながら多面的機能の確保を図る。また、地域を担う農業者を育成することにより活性化を図る。



[将来像を実現するための活動目標]

- 健全な自給飼料基盤の確保
- 農業生産力と農村社会の維持・発展を図る農家後継対策の推進
- 安全・安心な生乳生産体制の整備
- 自然環境を育む農村活動の推進



集落外との連携

標津町では、植樹祭を開催しており、農業関係者、水産関係者、商業関係者等と連携を取り植樹を実施している。

4. 今後の課題等

中山間地域等直接支払交付金を活用した酪農業の基礎となる草地の計画的な更新による良質な粗飼料の確保、そして乳用牛の疾病予防のワクチン接種、牛舎消毒等が実施された。

また、農業者・非農業者が一体となって参加した河畔林の造成などに取り組んだことにより環境との調和の必要性に意識を持ち始めた。

新規就農者については、持続的な農業・農村づくりや自給飼料向上のため農業の担い手の確保に向けた取り組みが今後も必要である。

[第 2 期対策の主な成果]

- ・ 計画的草地整備 (延べ面積 1,107.6ha)
- ・ ワクチン接種助成 (延べ頭数 61,214頭)
- ・ 農業者の植樹祭への参加 (延べ人数 390名)